

# 相模原商工会議所 景気観測調査結果 (令和6年7月～9月)

全業種の平均としては、景況は前期並みであった。製造業で景況が回復したが、飲食・サービス業と小売業・卸売業はほぼ変わらず、建設業が若干の悪化であった。コストの上昇は各業種において引き続き課題となっている。次期は全業種で景況は上向き見込みである。

## ポイント

- ▶ 令和6年7月～9月期の総合業況DIは▲19と、前期▲19から変わらなかった。製造業（前期▲26・今期▲20）が改善したほか、飲食業・サービス業（前期▲17・今期▲17）と小売業・卸売業（前期▲23・今期▲25）はほぼ前期並み。建設業（前期▲12・今期▲17）は若干の悪化であった。
- ▶ コメントによると、各業種で材料費、人件費、各種経費の値上がりは続いているようである。好調のコメントをされている事業者においても受注や売れ行きの動きはやや鈍めのようなのである。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲16と、今期▲19から3ポイントの改善の見込み。今期厳しかった小売業・卸売業（今期▲25・次期▲15）が改善の見込み。飲食業・サービス業（今期▲17・次期▲13）も回復が続く予想である。製造業（今期▲20・次期▲19）と建設業（今期▲17・次期▲17）は今期並みの見込みである。

## 各業界から寄せられたコメント

### 【抵抗溶接機】

自動化のニーズの高まり、ロボット化。

### 【金属製建具施工販売】

働き方改革における工期の延長（受注機会の間延び）。

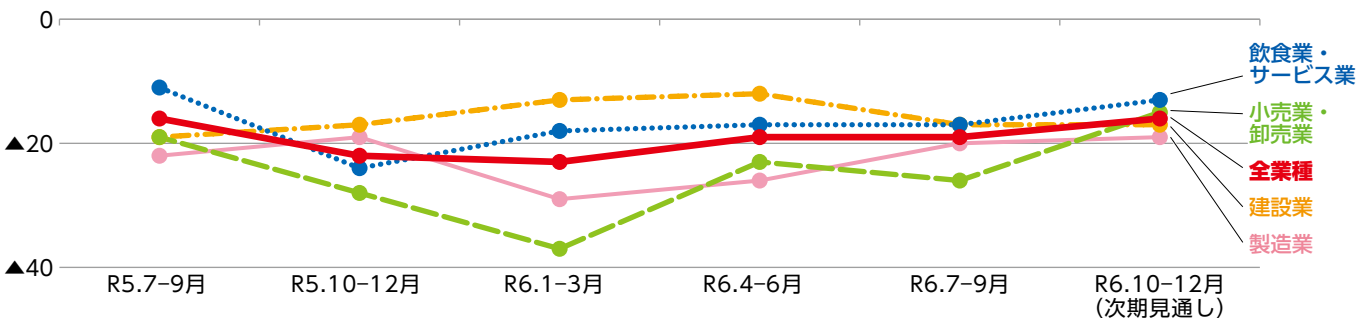
### 【米菓製造販売】

原材料米の高騰が、収益にマイナス影響となっています。本年度新米収量が平年並みになって、流通価格が落ち着くことを願います。

### 【ホテル客室販売、朝食販売】

ホテルの需要については近郊の製造業、建設各社の好況、不況に左右されやすい。現在は好調であるが先行きについては景気動向に注視。

## 業況別（総合判断）DI値の推移



	前年同期概況 (R5.7-9)	前々々期概況 (R5.10-12)	前々期概況 (R6.1-3)	前期概況 (R6.4-6)	今期概況 (R6.7-9)	次期見通し (R6.10-12)
製造業	▲22 ☁️	▲19 ☁️	▲29 ☁️	▲26 ☁️	▲20 ☁️	▲19 ☁️
建設業	▲19 ☁️	▲17 ☁️	▲13 ☁️	▲12 ☁️	▲17 ☁️	▲17 ☁️
小売業 卸売業	▲19 ☁️	▲28 ☁️	▲37 ☔️	▲23 ☁️	▲26 ☁️	▲15 ☁️
飲食業 サービス業	▲11 ☁️	▲24 ☁️	▲18 ☁️	▲17 ☁️	▲17 ☁️	▲13 ☁️
全業種 (総合)	▲16 ☁️	▲22 ☁️	▲23 ☁️	▲19 ☁️	▲19 ☁️	▲16 ☁️

業況天気図例	快晴	晴れ	薄曇り	小雨	雨
	☀️	☀️	☁️	☁️	☔️
	DI値 31以上	DI値 30～11	DI値 10～▲10	DI値 ▲11～▲30	DI値 ▲31以上

<<景気観測調査>>  
前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値（DI値）を用いる。

調査期間：令和6年7月1日～9月30日

回答率：22.5% 回答者数：823件

調査対象：当所会員事業所3,655事業所

中小企業診断士による分析結果およびご活用いただける支援策等をまとめた詳細データは、当所ホームページに掲載しております。

<https://www.sagamihara-cci.or.jp/services/jouhou/keiki>

データの郵送をご希望される方は、総務課（☎042-753-8131）までご連絡をお願いいたします。

